

文 想 感 書 読 少 年 青 全 国 コ ン ク ー ル

府内から4人入賞

第63回青少年読書感想文全国コンクール(全国学校図書館協議会、毎日新聞社主催、内閣府、文部科学省後援、サントリホールディングス協賛)で、同志社香里高3年の山中菜月さんが毎日新聞社賞に輝いた。大阪市立天満中2年の瀧本彩枝さん、堺市立少林寺小1年の立花優芽さん、大阪教育大付属池田小6年の伴百合子さんは、サントリ奨励賞に選ばれた。

大きな賞は初めて

近現代文学が好きで、安部公房の代表作「砂の女」を選んだ。

砂穴の家に閉じ込められ、出られないと知った男は、溜水装置を研究し、砂丘の人々の称賛を得る。男の行動を「物質的に満たされなくても、承認欲求を満たす幸せを選んだ」と読み解く。

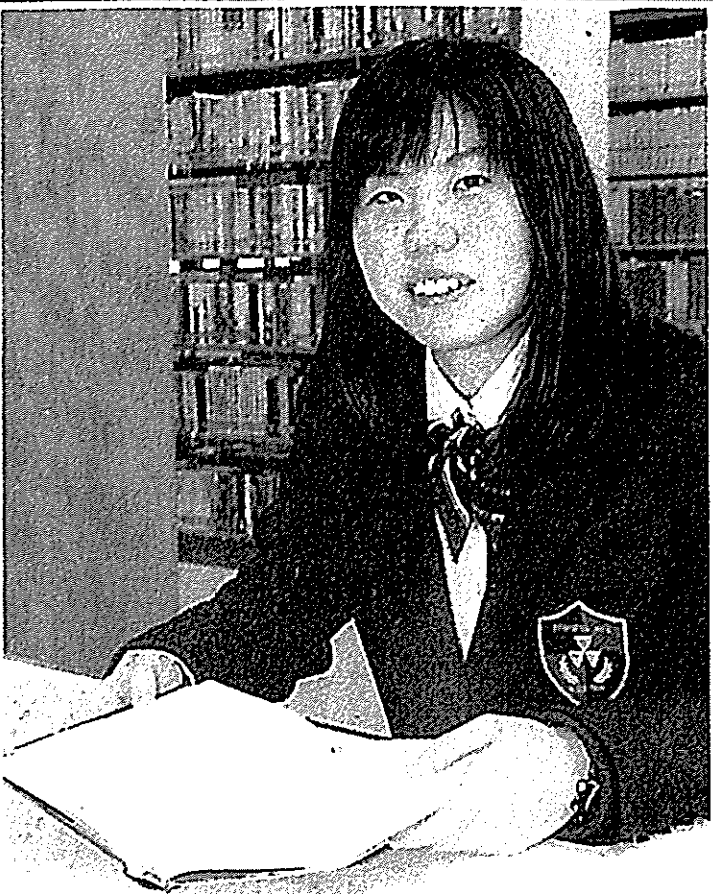
高校では書道部に所属。男の行動は、入賞を目指すし、必死に練習する自

毎日新聞社賞

同志社香里高3年 山中菜月さん

身の姿と重なった。「人から褒められ、承認欲求が満たされた時、その内容が自らの存在理由や生きがいになるのだと思う」月に4、5冊は本を読む。これまでもコンクールで受賞したことはあるが、「これほど大きな賞をもらったのは初めて」と喜んだ。将来は「人の心を考え、心に寄り添う仕事に就きたい」と考えている。

【加藤佑輔】



学校の図書室をよく利用するとうとう山中菜月さん